

# 令和6年度 江戸川区立松江第二中学校 学校経営方針

江戸川区立松江第二中学校

校長 鈴木 啓之

## 1 本校の教育目標

- すすんで学ぶ生徒
- 心の豊かな生徒
- 健康でたくましい生徒

## 2 目指す生徒の姿

- 自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒
- 思いやりの気持ちと豊かな心を持ち、ルールを守る生徒
- 意欲的に学力向上に努力する生徒
- 積極的に体力向上に努力する生徒

## 3 目指す学校の姿

### “生徒第一義の学校”

- 生徒一人一人の可能性を信じ、生徒の成長を第一とする学校
- 生徒自身の人生の基盤をつくることのできる学校
- 生徒が夢を持ち、生徒の輝く笑顔がいつも見られる学校
- 生徒・保護者・地域から信頼される学校

## 4 目指す教職員の姿

### “人に温かく優しく 仕事に厳しく 服務に厳正な プロフェッショナル集団”

- 生徒の成長を第一とし、常に専門職としての資質・能力の向上に努める教職員
- 「師弟同行」を胸に刻み、胸を張って生徒指導に取り組める教職員
- 組織の一員として職責を十分理解し、互いに学び合い、高め合える教職員
- 前例踏襲にとらわれず、生徒第一義の教育活動を実践できる創造力豊かな教職員
- 生徒・保護者・地域の方・教職員に対しても優しく温かい対応ができる教職員

## 5 今年度の重点目標 「持続可能で発展的な、魅力ある教育活動の実践」

※様々な面で、今後継続していく“松ニスタンダード”の構築

- ◎確かな学力の向上 “誰一人取り残さない学力向上”
- ◎人権尊重を基盤にした生徒指導 “生徒への愛情を根底に、寄り添い、包むこむ指導”
- ◎将来的な国際人としての健全育成 “2030年の未来・地球規模の視野でのSDGs教育”

## 5 今年度(令和6年度)の重点推進項目

### (1) 学習指導

#### ① 授業スタンダードの継続 “授業の成就感を常に”

・・・目標提示→ICT・タブレット活用、個別最適・協働学習→振り返り

#### ② プレゼンテーション力（構成力・表現力・説得力）の育成

・・・発表活動 成果物等の一層の拡大

### (2) 生活指導

#### ① より良い生活リズムの呼びかけ

・・・家庭学習、運動、余暇の見直し・工夫を

#### ② 人権尊重意識の一層の徹底

・・・教員自らの言動で示す 良い接遇で信頼関係をつくる

### (3) 特別活動・その他

各行事や委員会活動でより良いスタンダードを目指す

### (4) 研修の充実 “元氣な教員が、元氣な学校をつくる”

教員全員で、授業改善と自己テーマでの外部研修に取り組む

## 6 重点目標達成のための具体的方策

### (1) **人権尊重** “生徒も保護者も教職員も地域の方々もみんな大切な存在”

- ① 共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり
- ② 教育の場にふさわしい「言語環境」

### (2) **安全第一** “安全安心があつてこそ教育が始まる”

- ① 授業中の安全指導
- ② 学校生活全般の安全指導
- ③ 生徒の視点にたった、学校内外の安全管理
- ④ 不審者侵入、火災、地震、水害等非常時の分担や職務の明確化
- ⑤ 保護者・地域との積極的な連携

### (3) **学習指導** “誰一人取り残さず、学び続ける生徒を育てる”

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善  
・・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着
- ② 指導と評価の一体化と評価材料の工夫
- ③ 「思いやりの心」を育成する道徳教育の推進
- ④ 読書科を中心とした探究活動の推進、作品コンクールへの参加

**(4) 生活指導 “厳しさの中に優しさ・温かさを秘めた指導”**

- ① 様々な自己選択や自己決定の機会の提供と適切な指導と援助
- ② 問題行動への一貫性ある指導
- ③ 情報共有と迅速な対応
- ④ 深い生徒理解に基づき、生徒の内面に迫る指導
- ⑤ いじめの早期発見・早期解決
- ⑥ 不登校の初期対応の徹底と支援の充実

**(5) 進路指導 “生徒の未来は、この国の未来につながっている”**

- ① キャリア教育の視点の重視
- ② 体験的学習の充実
- ③ マイキャリアノートの活用

**(6) 健康指導(保健給食) “健全な生活の中で心と体の成長を促す”**

- ① 養護教諭との緊密な連携
- ② 生活習慣の改善のよびかけ
- ③ 食育の一層の充実 ④アレルギー対応の丁寧・適切な対応

**(7) 特別支援教育 “一人一人にきめ細かく寄り添う心としぐみを”**

- ①委員会を中心に様々な機関・人員との連携
- ②生徒・保護者の教育的ニーズの把握による、信頼関係の構築
- ③支援を要する生徒の詳細な情報共有と手立ての工夫
- ④関係諸機関との一層の緊密な連携

**(8) 特別活動 “人との関わりの積み重ねで生徒は成長する”**

- ①学級活動や生徒会活動を通しての、自主的・実践的態度の育成
- ②学校行事を通じた、より深い人と人のかかわり方の育成
- ③ボランティア活動や地域行事への積極的な参加の促進
- ④学校からの情報発信と地域教育力の活用

**(9) 校内研修 “教員の力が伸びれば、生徒の力も伸びる”**

**令和4年度・人権尊重教育推進校 研究発表の成果を継続・発展**

- ① 人権課題、SDGs、ユニバーサルデザインを主テーマにした研修の推進
- ② 学習タブレット端末のより一層の活用推進
- ③ 習得カリキュラムの確認等小中連携を深める
- ④ 都教職員研修センター主催の研修会への参加促進

(10) **地域・保護者との連携 “この地域を愛する生徒を育てる”**

- ① PTA 活動・地域行事への積極的な参加
- ② 生徒のボランティア活動の推進
- ③ 学校応援団の協力による校舎周辺の環境整備
- ④ 学校ホームページを活用した情報発信の充実

(11) **学校運営 “この区で、またこの学校ですっと働きたい教員を育てる”**

- ① 各分掌組織の十分な活用
- ② ワーク・ライフ・バランスをめざした計画的な「働き方」の推進
- ③ 「助け合い、学びあい、お互い様」をモットーに
- ④ 適確な事務処理と説明責任
- ⑤ tetoru 等区のシステムを有効活用し、業務の効率化を図る

(12) **サービスの厳正 “サービス事故ゼロは教育活動の「源」点”**

- ① 一社会人としての自覚の明確化（言動や服装等）
- ② 法令遵守はもとより、教育公務員としての自覚の明確化
- ③ サービス事故ゼロの意識の徹底（個人情報、守秘義務、体罰・飲酒による事故の根絶
- ④ あらゆるハラスメントの根絶

**※ P T A 組織の改革推進と支援（前年度から継続）**

- ・昨今の保護者の意識や地域の願いを受け止め、時代の流れに適応した「無理のない P T A 活動」の実践
- ・ P T A 会費の的確な運用と公正な監査の実施
- ・真に生徒のための P T A 活動の実践